

< 耳学問 >

2019. 11. 23 (土)

〇 弟子を3人目の前にして口業、1人だけ秘めて。

1対1で伝えているのが最高の学びであらうとは思えない。

〇 3人の弟子を目の前にして口業する

生井先生はそれ以上の喜びはないと思われている。

木曜日の消防団に於ける撤去活動を静観して。

（

- 金座書齋をセロから「自分の手で」作って、この場所にて合掌しや、てきてのこと……。
- 弟子が育っていると感じていること……。

）

ことはこれと言いつてもいい感情が込められている。

「弟子を守っている」と思い込んでいること、

「弟子に守られている」と実感していること。

書いてあることはすべて真実！

S.M. 2000 Quasi-Giza Sanctuary に来た消防団の言記述を言読して、大泣きされた。

「生井先生が長年かけて大伽藍にしようとしたものを……」と涙を流している。

手紙に、

「10年以上来ているお弟子さんにと、自分とは、生井先生とのきずなが違う」と率直に言っている。

S.M. 2012 短期期間で、その間いっしょに過ごしたことから、あとをまじり合っている。

K.H.JU

結婚 - 引越 - 子育て
(柏市) (2人の子ども)
金武座敷南から
(深い)

小さくて思い通りに時間がとれない

普通の生活

地域での活動
子どもの言葉習得の方への付き合い
...

大きなサロンのあり
小窓にいる

↑
生井先生のモットーが食していること

上に行きたいと、思い通りに行かない

↑
「それは「やみこ」遠くなる」という発言は、

Local意識が手にあるから感じる。

生井先生の下での勉強が

崇高なことであるのは正確だが、

崇高なこと、localなこと

これとらわぬといけない

本人のために尊敬されるが、
本当は尊敬されない

↑
生井先生のモットー

自分で学ぶから!

自分中心に

そのことを考へる思考法から

離れる必要がある

「生井先生は宇宙にいるが、我は地球にいる」とK.H.Juは言うが、

今、ここにいる宇宙である！

→ 現実！

T=ITの受ITとめられたい。

固定観念から離れられたい。

我の今、いる場所IT=IT
宇宙である！

真理、真実=IT=IT

本人には おとぎ話のみに=昇=なるかも。

普通の生活とかけ離れているから。

固定観念に

しはられたい。

Yes, or, Noの手入れたい。

IT=ITは牛物にq=は！

金堂を月読いて、[IT]=か[IT]=は、て
ついでにIT=IT!

生井先生の著文は
とわめてて崇高なこと。

この質問がはいから困惑です。

質問はいろいろ！ いいてq=と、言っている。

直接受IT取IT=IT!

基礎学力を論理をいうたい！

直接受IT取ITはたい。

大学ほどで強か強に
著文をIT取ITはてにり着
と=

● 「Holiness」のとり方。PDFのリポート



開講当日は、なかなか

このまじな言葉は、なかなか

2008年3月～レッスンの日記



「インナー」を明らかにして



英語道弟子言葉を作る。

最初の7頁の「おのれ」
若々しいのは難しい

基本的に生井先生の持っている
ものを、そのまゝに「おのれ」に
していただく

今、10年や、25年からは
なかなか

一般教養
ではない!

● 生井先生の夕食は最近、枝豆と豆腐の日が多い。



お豆腐の日と枝豆の日がある。